

令和5年度 Firstみるく  
 児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 1日

事業所名 Firstみるく

	チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	無回答	改善点、工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6				その日の人数の増減に応じて効果的にレッスンが行えるように調整している	厚生労働省基準の利用定員に則っていますが、レッスンが少人数性をとっており、広々つかえるようにしています。
	2 職員の配置数は適切である	5	1				厚生労働省基準の配置基準に則っていますが、個人のレッスンの場足、配置を工夫しています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	1				玄関の段差には手すりを取り付けており、それ以外の室内にはほぼ段差がありません。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6				・消毒換気を常に行うようにしている。 ・子ども達が活動しやすいように整理整頓しておく。	使用する備品の収納位置を決めているので、子どもたちが活動しやすいよう整理整頓に努めます。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6					レッスンごとに担当職員にて目標確認、振り返りなどミーティングを実施しています。常勤、非常勤職員共に全職員がPDCAサイクルに参画できるよう努めています。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6					毎年度一回のアンケートをもとに業務改善に努めています。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6					玄関前掲示、ホームページにて自己評価結果を公表します。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6					当事業所には第三者機関による外部評価は義務付けされていませんが、法人の代表や他事業所のスタッフに現状を評価してもらい業務改善につなげています。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6					研修時間や研修方法、または研修内容の周知方法の工夫をし、必要な職員で研修内容を共有できるように努めます。
適切	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6					アセスメントツールの活用に加え、直接保護者に話を聞き児童の理解に努めています。
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6					外部で実施した知能検査等の検査結果・報告を提供して頂いていますが、更に事業所でも標準化された情報収集・共有の為のアセスメントツールを用い評価していくか検討していきたいと思っております。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6					児童発達支援管理責任者がガイドラインに沿って計画をまとめていますが、全職員にガイドラインの内容を周知できる機会を設けていきたいと思っております。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6					

		チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	無回答	改善点、工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
な支援の提供	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	6					
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6					季節や文化を取り入れながら、特別プログラム等も組み、レッスンをこなしています。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6					
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6					レッスン前のミーティングにて、継続支援の振り返り・目標確認をしています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6					その日の振り返りは状況に応じて実施していますが、今後も細やかな情報共有・支援の振り返りを行えるよう努めます。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6					
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6					6か月ごとのモニタリング、計画の見直しを行なっています。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6					管理者もしくはレッスン担当職員が参画しています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5	1				母子保健員が深く関わっているケース、必要としているケースがなく、繋がりがありませんが、今後機会があれば連携をとっていききたいと思います。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている					・該当者なし	医療的なケアが必要なお子さまの在籍はありませんが、今後受け入れる場合には、主治医と連携をとり支援を行っていききたいと思います。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている					・該当者なし	医療的なケアが必要なお子さまの在籍はありませんが、今後受け入れる場合には、主治医と連携をとり支援を行っていききたいと思います。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6				・保訪	園、関係機関等交えた会議に参加し、支援内容等の情報共有と相互理解を図りより良い支援に繋がるように努めています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6				・保訪	園、関係機関等交えた会議に参加し、支援内容等の情報共有と相互理解を図りより良い支援に繋がるように努めています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6			2		外部専門機関の研修などを受け、内部研修を実施しています。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	5		1			レッスンによっては、ていだキッズとの合同レッスンも行っています。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	5		1			協議会、地域の子育て会議等の情報を得ておらず、参加できていない状況ですが、今後積極的に機会があれば参加していききたいと思います。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6					送迎時の相談に加え、電話・LINEなども利用して共有の時間を作るようにしています。今後も保護者の方々とお子さまの様子を伝えあい、共にお子さまの状況、発達に共通理解を持ち支援に繋がるように努めていききたいと思います。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	6					交流プログラム参加者については、代表理事主催の勉強会をご案内しています。また、沖縄わらべつた研究会の勉強会などお知らせしています。

	チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	無回答	改善点、工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6					契約時に説明を行っています。
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6					芸術療育を通して“創作活動”“自立生活支援の土台となる自己肯定感の向上”“健常児との交流”“リラックスできる時間”等の支援を行っていますが、全職員が「ガイドライン」の内容を周知できる機会を設けていきたいと思ひます。
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6					保護者からの相談には答えられるよう一同勉強を重ねていますが、今後も皆が保護者支援もできていると自信を持って思えるように勉強を重ねていけるように取り組んでいきたいと思ひます。
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6				・特別プログラムでの交流 ・茶話会の開催	特別プログラムや親子プログラムで保護者同士が関わりを持つ機会を作るようにしています。また、茶話会を開催し、保護者同士の交流の場を設定しています。
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6					
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6				・掲示	ホームページ、Facebookページを開設しています。その中で活動概要などお知らせしていけたらと思ひます。またLINEアプリを利用した連絡体制を充足していきたいと考えています。
	38 個人情報の取扱いに十分注意している	6					個人情報、鍵付きの書棚に保管し、取り扱いに配慮しています。また、職員には外部に漏らさないように雇用契約を結んでおります。それを皆が深く理解を示せるように取り組んでいきたいと思ひます。
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6					利用者の特性に応じた伝達の仕方を工夫しており、また保護者の方への伝達は口頭のみでなく、書面やLINE、あるは動画などを用いる場合があります。
40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	5			・自治会など	松島自治会に加入しています。自治会主催の行事にも参加し、地域の方との関わりを持つことで地域の方の理解や協力を得ながら活動を広げていきたいと思ひています。	
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6					それぞれマニュアルを玄関の靴箱上に設置しています。いつでも閲覧ください。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6					てんかん、アレルギーに関しては、会議やレッスン前の打ち合わせで周知しています。
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6					服薬、てんかん発作等について子どもの状況を契約時に確認していますが、また過去の予防接種の情報は聞き取っていませんので、取り扱うかは検討していきたいと思ひます。
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6					食事の提供はありませんが、アレルギーの情報は個人ファイルに記載の上スタッフで共有することとしています。
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6					ヒヤリハット事例集を作成しています。担当でない利用者の事例であっても、全職員に周知・活用できるよう努めます。
46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6					毎年度、職員が事業所外の虐待研修を受けています。その後それを元に職員研修を行なっています。	

	チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	無回答	改善点、工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6					事業所内虐待研修の際に、毎年改めて身体拘束についての注意事項を全職員へ周知することを徹底します。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。